245 I-123 IMP SPECTの画像評価と読影所見（脳血管障害に対するI-123 IMPによるSPECTの臨床的有効度評価に関する共同研究）

蓑島　聡、内田佳孝、吉川京燦、宇野公一、有水　昇（千葉大放）、町田喜久雄、本田憲業、間宮敏雄、高橋　卓、瀧島輝雄（埼玉医大医療センタ放）、松本　徹、飯沼　武（放医研臨床研究部）、久保敦司、塚谷康司（慶応大放）、中島哲夫（埼玉県がんセンタ放）、村田　啓（虎ノ門病院放）、川上憲司（慈恵医大放）、小山田日吉丸（癌研）、石井勝巳（北里大放）、油井信春（千葉県がんセンタ核）

フィルム上にディスプレイされたI-123 IMP SPECT画像及び医師１４人の読影結果より、画質が読影結果に及ぼす影響について報告する。画質の違いによる病変検出率、偽陽性の頻度、部位別読影結果の差異などについて、病変が確定した２９症例について比較・検討を加えた。

246 脳血管障害に対する^{123}I-IMP による SPECTの臨床的有効度評価に関する共同研究：医師間変動の解析

松本　徹，飯沼　武（放医研臨床研究部），町田喜久雄，本田憲業，間宮敏雄，高橋　卓，瀧島輝雄（埼玉医大医療センタ放射線科学教室），中島哲夫（埼玉県がんセンタ放射線部），村田　啓（虎ノ門病院放射線科），川上憲司（慈恵医大放射線医学教室），小山田日吉丸（国立がんセンタ放射線診断部），塚谷泰司，久保敦司（慶応大放射線医学教室），石井勝己（北里大放射線医学教室），油井信春（千葉県がんセンタ核医学診療科），宇野公一，吉川京燦松迫正樹，蓑島　聡（千葉大放射線医学教室）

^{123}I-IMP早期，遅延スキャン SPECT，XCT を施された65例に対して，各施設の主治医が確定した診断結果と他施設の医師14名が読影した結果を比較した。これより，検出所見数，検出部位，所見の存在確信度等が医師によりどの程度変動するか，変動要因は何か検討したので報告する。

247 ^{123}Ｉ－ＩＭＰ脳血流シンチグラフィグループスタディの検討（偽陽性，偽陰性例について）

中田典生，川上憲司（慈大放），町田喜久雄，本田憲業（埼玉医大医療セ放），飯沼武，松本徹（放医研），石井勝巳（北里大放），宇野公一（千葉大放），小山田日吉丸（癌研放），久保敦司（慶大放），中島哲夫（埼玉がんセ放），村田啓（虎ノ門病院放），油井信春（千葉がんセ放）

ＣＴ，手術，血管造影等によって確定診断の得られた６５症例を対象として，^{123}Ｉ－ＩＭＰ脳血流シンチグラフィの臨床的有効度について検討してきたが，今回は脳血流シンチグラムが偽陽性もしくは偽陰性であった症例を対象として，誤診した症例の疾患名，病巣の局在と大きさ，臨床所見，撮像条件等について検討した結果を報告する．

Presented by Medical*Online